

社会医療法人 博愛会

HAKUAIKAI Social Medical Corporation

特定領域がん診療連携拠点病院
へき地医療拠点病院

相良病院

Sagara Hospital

さがらパース通りクリニック

Sagara Perth Street Clinic



わたしたちだから、できること

What we can do.

Contents

診療

乳腺診療	06
乳腺・甲状腺外科	08
婦人科	09
甲状腺診療	10
甲状腺・内分泌内科	11
形成外科	12
腫瘍内科	13
放射線治療科	14
緩和ケア・サイコオンコロジー科	15
歯科口腔外科	16
糖尿病・内分泌科	17
放射線診断科	18
病理診断科	19
麻酔科	20
専門外来	21
へき地医療・さがらウイメンズヘルスケアグループ	22

ケア

トータルケア	23
療養環境	24
企業連携	28

健診センター ウェルライフ

人間ドック	30
巡回検診車	32

部門紹介

看護部・薬剤部	34
放射線技術部・臨床検査部	35
臨床研究支援部・リハビリテーション部	36
栄養管理部・事務部門	37

施設認定	38
------	----

沿革	39
----	----

理事長挨拶	40
-------	----

● 私たちが目指すもの

健診から、緩和ケアまで

より高い専門性、より幅広い対応力で、女性のための医療、がん医療に取り組んでいます。

私たち博愛会は、乳がん治療の分野で全国的な評価を得てきました。そこで培った専門性や医療の質を基盤に、より幅広い対応力を備えた「女性医療、がん医療のトータルケア」を推し進めています。

そのひとつの特徴が、特定領域がん診療連携拠点病院として、健診から診断、治療、術後サポート、緩和ケアまで一貫したがんの医療体制を実現していること。各段階をしっかりと連携させることで、病状のさまざまな局面を縦断的にケアすることができます。

もうひとつの特徴が、乳腺科、甲状腺科、婦人科、健診センターを備え、女性のための医療に多面的に取り組んでいること。各科を横断的に組み合わせることで、よりの確な医療を可能にしています。

また1997年、鹿児島県初の緩和ケア病棟は、性別を問わず、さまざまながんに対応できる施設です。

博愛会創立から70年余り。変わらぬ基本理念は「共に在り 共に歩む」です。

私たちはこれからも、特徴とする専門性や幅広い対応力を磨きながら、より一層信頼される医療に取り組んでまいります。

concept
コンセプト

進歩、多様化する医療技術を取り入れ常に、新しい医療を提供しています。



相良病院は全国で初めて唯一、乳がん領域における「特定領域がん診療連携拠点病院」に認定されました。「特定領域がん診療連携拠点病院」とは、特定のがん種について、都道府県で最も多くの診療実績があり、拠点的役割を果たす病院です。

これまで当法人は1973年、九州で初めてマンモグラフィ導入以降、常に研鑽を積み、新しい医療に取り組んできました。

近年では、2008年、九州で初めて遺伝性乳がん卵巣がん症候群に対する遺伝外来を開設。2018年には、乳がん治療の選択肢を広げるため、「がんゲノム医療外来」を開設し、厚生労働省より「がんゲノム医療連携病院」に認定されました。

また、臨床研究にも積極的に取り組み続けており、2017年より文部科学省より科学研究費補助金取扱い規程第2条に規定する研究機関（科研費研究機関番号：97701）として指定を受けています。

さらに2020年には、患者さんに寄り添う質の高い医療とケアの環境を整えるため、新相良病院をグランドオープンしました。

これからも、これまでの診療実績を基に、新しい医療やケアの推進、研究活動を通し次世代の女性モデルを発信し続けてまいります。

一人ひとりに最適な医療を提供するために、チーム医療を実践しています。



● 職域を超えたチーム医療

患者さんに最善の治療を提供するためには、専門性をもった多職種のメンバーがそれぞれの役割を十分に発揮する必要があります。

互いの専門性を活かしながら、取り組む組織風土が私たちの誇りです。

● 多職種カンファレンス

キャンサーボード

「患者さんの目線で話し合うこと」、「多職種のスタッフが自由に発言できること」、「納得できるまで話し合うこと」を意識し、がん治療に係わるすべての診療科と多職種のスタッフが集まり、患者さん一人ひとりの治療方針の検討を行っています。

倫理カンファレンス

日常の診療やケアの現場で、「この人にとってどうすることが一番良いことなのか」、悩むようなこと、社会的な課題などにどのように対応したらよいか、臨床倫理的な課題を解決するために多職種のメンバーによる事例を検討。

● 良質な医療を保証するための委員会

倫理委員会・治験審査委員会 (IRB)

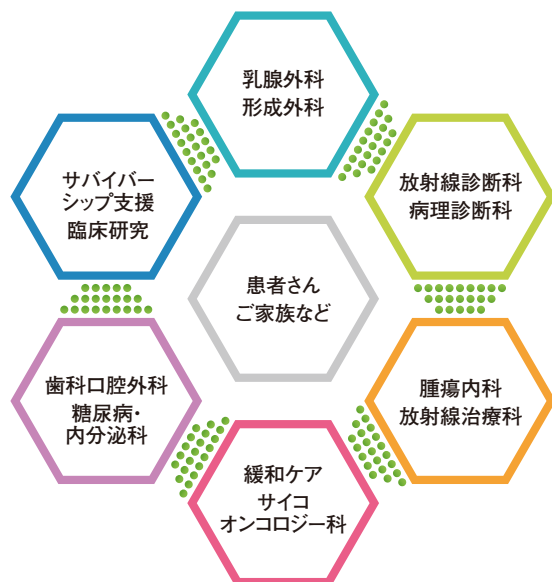
外部委員を交え、博愛会の医療や研究が適切かつ公平・公正に行われているかを審議しています。

また、臨床現場での倫理的な課題について対応し検討しています。



乳腺診療

50年以上の実績で、
乳がんの個別化治療と
チーム医療を実践しています。



1973年に九州初のマンモグラフィを導入して以来、博愛会は乳がん治療の分野で、50年以上の実績を積み重ねてきました。

各診療科を備え、健診から診断、治療、術後サポートまで、一貫した医療体制を実現しています。

● 検査

精度の高い検診を安心して受けられるように、マンモグラフィ撮影認定技師A評価を取得した女性技師による検査と、放射線診断専門医が正確な読影と診断を行っています。また、画像で発見された病変について経験豊富な病理専門医と、細胞検査技師が細胞や組織を採取・観察し、良性か悪性かの判断を行っています。

● 手術

乳腺外科と形成外科が連携し乳房再建を行うことで、患者さんの心と身体の負担軽減に努めています。病理専門医が術中迅速検査を正確に行うことで、切除部位を最小限に抑えながら、乳房の整容性を保ち、リンパ浮腫などの合併症軽減につなげています。

● 薬物療法

病理診断科・腫瘍内科の正確な診断をもとに、がんの性質や特徴に応じて最も効果が期待でき、なるべく不要な副作用がないような薬剤を選択しています。また日常生活を継続しながら、外来で安全かつ安心して薬物療法を受けられるように「化学療法センター」を開設しています。

● 放射線治療

乳がんは放射線の感受性が高く、放射線治療が効果的です。「放射線治療センター」には、腫瘍部分により正確に照射し、周囲の正常組織への照射線量を抑える放射線治療装置を導入。乳がん術後の再発予防や症状緩和などに大きな効果を発揮しています。

● 緩和ケア

緩和ケアにおいては、乳腺科と緩和ケア科が連携し、診断時から身体的・精神的な苦痛をやわらげる治療を取り入れています。

● サバイバーシップ支援

がんと診断され、治療を受けていく中で、一人ひとりの患者さんやご家族がより良い社会生活を送ることができるように多面的に支援しています。

● 臨床研究センター

当法人では新薬の開発に必要な臨床試験「治験」や「医師主導臨床試験」を行うため「臨床研究センター」を設置しています。文部科学省より、科学研究費補助金取扱い規程第2条に規定する研究機関として指定を受けました(科研費研究機関番号:97701)。



乳 腺・ 甲状腺 外 科

エビデンス(医学的根拠)に即した豊富な診療実績が信頼性の高い医療を支えています。

当法人は全国有数の手術症例数として例年、初発乳がん手術件数は700例を超えています。

乳がんの標準治療とされる、乳房部分切除術(乳房温存術)は手術の約6割を占め高い温存率を保ち、乳房全切除術が必要な方は、乳腺外科医と形成外科医の連携による乳房再建が可能です。

また、放射線診断専門医、病理専門医との連携を計り最善の手術を遂行し、多職種がチームとなって患者さんの心と身体の負担軽減に努めています。

臨床研究を通じて、乳癌に対する新たな手術方法や治療法の開発に携わりながら、乳腺外科の専門医取得を目指す若手医師の教育にも力を注いでいます。

●手術

- ・乳房温存術、乳房全切除術
- ・乳房再建術



婦 人 科

ライフステージで異なる女性特有の不調・疾患に対応します。

思春期から更年期、老年期にいたるまで、ライフステージによって変化する女性の身体の悩みに対して専門的な診療を行っています。また、乳腺科・甲状腺科と連携を図り、一人ひとりに合わせた医療に取り組んでいます。

患者さんのQOLを大切に、医師、看護師、スタッフがチームとなって安心して相談できる環境を整えています。

●婦人科疾患

子宮がん検診、月経不順・PMS・月経困難症・更年期障害に対する薬物療法、良性疾患に対する腹腔鏡下手術、子宮頸部異形成に対するレーザー蒸散術、円錐切除術

●乳がんの方への診療

術後ホルモン療法中の診療、生殖補助医療施設と連携した妊孕性温存療法、HBOC(遺伝性乳がん卵巣がん症候群)患者に対する予防的卵管・卵巣切除術



甲状腺 診療

内科・外科・放射線科の 3領域から総合的な 甲状腺診療を行います。

甲状腺疾患は男性に比べ、圧倒的に女性に多い病気です。当法人では、長年培ってきた女性医療の専門性を基盤に、内科、外科、放射線科の3領域から甲状腺疾患の診断・治療を行っています。

放射線科では、甲状腺シンチグラフィを行うほか、放射線治療病室があり、内用療法(アイソトープ治療)も実施しています。このように、内科、外科、放射線科の3領域から総合的な治療ができるのは、九州でもいくつかの施設に限られています。

- 甲状腺学会認定医による正確な診察と治療
- 甲状腺手術(全摘出術、葉切除術)
- 最新の免疫測定装置による高精度・迅速な検査
- 放射線治療専門医による放射線内用療法(アイソトープ治療)

甲状腺・ 内分泌 内科

バセドウ病、橋本病などの 甲状腺機能異常や 甲状腺炎などの診療を行います。

甲状腺疾患は女性に多い病気です。自覚症状も更年期障害と類似しているものが多くみられます。

また妊娠中の甲状腺機能異常は胎児の成長に影響するため、きちんとした管理が必要です。

高精度かつ迅速な甲状腺ホルモン検査を行うため、最新の免疫測定装置を完備し、検査結果をもとにした診察は日本甲状腺学会認定専門医が行います。

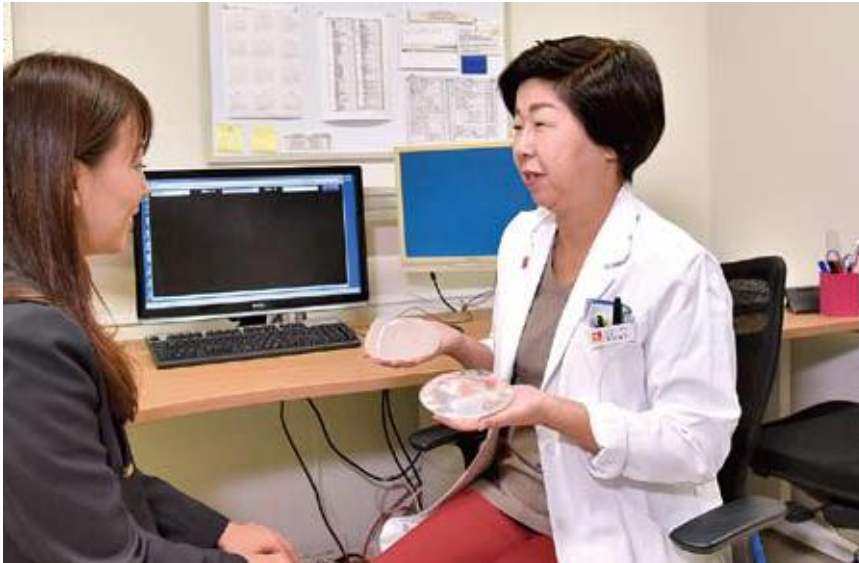
検査は血液検査と甲状腺エコー検査が基本で、必要な場合は穿刺吸引細胞診を実施します。一人ひとりに最善の手術法と切除範囲を選択します。

甲状腺がんは悪性度の高い未分化がんを除き、多くの場合、治療は手術が基本となります。

手術には、甲状腺をすべて摘出する全摘出術、片側の甲状腺(右葉[うよう]あるいは左葉[さよう])を切除する葉切除術などがあります。

手術の方法はがんのある場所や大きさ、転移の有無などによって決定します。

また症状や患者さんの希望に応じて、良性の甲状腺腫の手術も行っています。



形成外科

乳房再建手術や色素性皮膚疾患を専門とし幅広い治療を行っています。

当法人の形成外科では乳腺科と連携して、一人ひとりに寄り添う診療で、患者さんのQOLにあわせた乳房再建を提供しています。

また、生まれつき、病気やケガによる組織の異常や変形、欠損、色素性皮膚疾患などの治療も行っています。

- インプラントによる乳房再建(保険適用)
- 自家組織による乳房再建(保険適用)
- 脂肪注入による乳房再建(保険適用外)
- 乳頭・乳輪再建(保険適用)
- メディカルタトゥー(保険適用外) • 陥没乳頭
- レーザー外来(色素性皮膚疾患) • 陥入爪、巻き爪
- 癬痕拘縮 • 眼瞼下垂症 • 睫毛内反症 • 腋臭症



腫瘍内科

化学療法センターを備えがん薬物療法の専門医が治療と生活を支えます。

腫瘍内科は、がん薬物療法を専門とする内科の一分野で、腫瘍内科医とは、質の高いがん薬物療法を実現するため、幅広い臓器のがん薬物療法の知識と技術をもった専門医です。

当法人の腫瘍内科は、乳がんの内科的治療(薬物療法)を専門とし、乳がんに対する新しい治療法の導入や標準的治療法の確立、治験・臨床試験、緩和療法など行います。化学療法センターを備え、各専門医やメディカルスタッフと連携しながらがん治療を行い、治療と日常生活を両立できるよう副作用のマネジメントに努めています。

- 薬物療法
(抗がん剤・分子標的薬・免疫チェックポイント阻害剤)
- がんゲノム医療
- ホルモン剤



放射線治療科

乳がん、前立腺がん、 甲状腺疾患を中心に 放射線治療を行います。

放射線治療は、手術、化学療法と並んで「がん治療の3本柱」の1つとされています。放射線は目に見えず、照射中に痛みは感じません。身体への負担が少なく、高齢の方や手術ができない方にも適応可能です。

放射線治療センターでは、外照射療法・内用療法の両面から、よりやさしく、より効果的な放射線治療を実践しています。

放射線治療装置(リニアック)を用いた放射線外照射療法

- ・強度変調放射線治療(IMRT)・強度変調回転放射線治療(VMAT)・定位放射線治療(SRT)・3次元原体照射
- *画像誘導放射線治療(IGRT)

内用療法(アイソトープ治療):放射性ヨウ素、ラジウム、など

- ・放射線治療のための病床(パース通りクリニック)
- 放射線外照射療法のための専門病棟 16床
- 内用療法を行なうための放射線治療病室 2床
- ・内分泌疾患に対する核医学検査(RI検査)



緩和ケア科

がんと診断された方に、体の痛みをやわらげる治療を提供します。

緩和ケア科では、がん患者さんご家族を支え、自分らしく生きることをサポートするための診療・ケアを行っています。さまざまに現れるがんによる痛みやつらさは、緩和ケアでやわらげることができます。

サイコ オンコロジー科

がん治療を安心して継続できるように、体の痛みへのケアだけでなく、心の痛みにもケアを行います。多くのがんの患者さんが、不安など心の問題をかかえています。また気持ちの落ち込みがなくても、眠れない、食欲がない、体がだるいなどのからだの症状として現れることがあります。

当法人では、診断時からの多職種によるチームアプローチを基盤として、外来・入院ともに患者さん一人ひとりへの全人的ケアの提供を目指して取り組んでいます。

- ・がんと診断された時から、シームレスな緩和ケア
- ・患者さんの希望や価値観を大切に意思決定支援(アドバンスケアプランニング)
- ・男女問わず、多様ながんに対応する「緩和ケア病棟」



歯科口腔外科

がん患者さんの生活を支える 専門医が、切れ目のない 口腔ケアを実現します。

がん治療中は口の粘膜が荒れたり、口内炎、味覚異常、ドライマウス、顎骨の炎症などが起こりやすく、悪化すると、がん治療の延期や中断せざるを得ない場合があります。

こうした口腔内のトラブルの予防や治療を行い、安心・安全にがん治療を続けることができるように、当法人の歯科口腔外科では、がん治療の支持療法として口腔ケアを提供しています。

また、各診療科やかかりつけの歯科医院と連携し入院・治療前から診療を行うことで、口腔内に関わる苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上に努めています。

- 周術期の合併症予防のための口腔ケア
- がん治療中の口腔ケア
- 口腔ケア教室



糖尿病・ 内分泌内科

生活習慣病やがんの治療を サポートします。

糖尿病・高血圧症・脂質異常症・肥満症・非アルコール性脂肪肝等の生活習慣病をもっていると、様々な病気に罹患しやすくなり、治療の妨げになることがあります。

なかでも糖尿病は乳がんの予後に影響を及ぼすことから、適切な治療を行う必要があります。

当法人の糖尿病・内分泌内科では、乳がん治療中の患者さんに対して、糖尿病・内分泌内科専門医が体調、乳がんの治療内容、生活環境等に合わせて治療を組み立て提供します。

- 糖尿病の治療
食事療法、運動療法、薬物療法
- 糖尿病の教育入院
食事・運動・薬物療法などの個人指導
- ホルモン療法に伴う脂肪肝、脂質代謝異常の治療
- 下垂体、副腎、副甲状腺などの内分泌疾患の診断・治療



放射線 診断科

高度な読影技術と
高性能の画像診断機器で
がんの診断・治療に貢献します。

放射線診断科は、さまざまな画像診断機器を用いて体の中を画像化するとともに、専門的な立場から分析して診断し、適切な治療につなげる重要な役割を果たしています。

当法人は、先端的な画像診断機器を駆使し、日本医学放射線学会認定の放射線診断専門医が迅速かつ正確に診断しています。

特に乳がん・甲状腺がんの切除範囲の決定や再発・転移の有無の検索において放射線診断は不可欠であり、高精度な診断が当法人の専門性を確実なものにしています。

- 3Dマンモグラフィ
- マンモトーム生検
- エコー
- CT
- MR-PET
- MRIガイド下生検
- RI
- 透視
- 一般撮影装置(単純レントゲン写真)



病 理 診断科

迅速かつ正確な診断が
適切な治療方針の決定に
貢献しています。

当法人の病理診断科では、経験豊富な病理専門医と細胞検査士が、患者さんの負担軽減と正確な診断を両立するため日々研鑽を積み、迅速かつ正確な診断で適切な治療方針の決定に貢献しています。

病理診断科は、画像によって発見された病変について、細胞や組織を採取・観察し、良性か悪性かの判断を行っています。また、悪性(がん)であった場合には、どのような治療が効きやすいのか、再発する可能性がどのくらいあるのかなどを調べ、適切な治療方針の選択に重要な役割を果たしています。

- 手術中の迅速検査(センチネルリンパ節生検・断端検索)
- 専門的なバイオロジー評価
- 多遺伝子アッセイや遺伝子パネル検査への対応



麻酔科

一人ひとりの患者さんのために
最適な麻酔と疼痛管理を
行っています。

当法人では、乳腺・甲状腺・婦人科疾患の手術の麻酔や周術期管理を行っています。

日本麻酔科学会認定医・専門医・指導医および機構専門医の資格をもった医師が、快適で安全性の高い麻酔管理を提供できるように日々診療にあたっています。

手術前の周術期麻酔科外来では、患者さんの全身状態の把握に努めています。

また、高血圧、糖尿病、呼吸器疾患など患者さんの術前の合併症については、手術が可能な状態になるまで様々な診療科と連携して治療しています。手術後も患者さんがより良い生活を送れるようにサポートいたします。

専門外来

患者さんの悩みに応えるため、
常に新しい医療に取り組んでいます。

● 遺伝相談外来

2008年、九州の医療機関で初めて、乳がん・卵巣がんの遺伝相談外来を開設しました。遺伝カウンセリングの際に「遺伝性乳癌卵巣癌(HBOC)」や、遺伝性腫瘍の発症しやすさを知る遺伝学的検査の意義をお伝えします。

遺伝学的検査を受けられた場合には、検査結果の解釈やそれに基づく検診計画、ご家族への情報提供をサポートします。

遺伝学的検査の結果を治療や予防に活かすことができる時代です。当法人は乳房造影MRIを用いた検診やリスク低減乳房切除術あるいはリスク低減卵管卵巣摘出術についても対応できる体制を整えています。

がん発症/未発症を問わず遺伝性腫瘍についてご相談いただく場として、県内あるいは県外施設の遺伝相談外来と連携しながら、それぞれが暮らす地域で遺伝カウンセリングや個別化検診を受けられるように、外来を継続しています。

● がんゲノム医療外来

2018年、当法人は乳がん治療の選択肢を広げるため、「がんゲノム医療外来」を開設しました。がんゲノム医療とは、がん細胞や正常細胞のゲノム情報を調べて、治療の最適化や治療成績の予測、発症予防を行う医療です。

従来の通常診療では臨床試験結果に基づき、一定の頻度効果があると思われる薬剤を使用してきましたが、がん細胞の遺伝子異常を網羅的に調べる「遺伝子パネル検査」を行うことで、この遺伝子パネル検査の結果を踏まえ効果が期待できる薬剤を選択したり、新たな薬剤の臨床試験に参加する機会が得られるようになりました。

厚生労働省より「がんゲノム医療連携病院」に認定され、保険適用の検査も開始しています。



トータルケア

病気や仕事、ご家族のことなどについて、いつでも相談できる体制があります。

がんや病気に罹ると自分の状況を理解し、正しい選択をすることが難しくなったり、悲しみや怒りなどの感情に対処できず、前に進むことが困難になるときもあります。

当法人は患者さんやご家族ができるだけその人らしい生き方ができるよう、様々な局面で、私たちの総力を挙げて支援します。

●がん相談支援センター

がんの診断や治療、痛みやつらさについてはもちろん、治療に伴う経済的な問題、就労の問題、療養の場所、セカンドオピニオンなどについてもご相談いただけます。

手術や治療後、定期的な診察や検査ができるよう、かかりつけ医との連携についてもご相談ください。



●看護相談

診断の当初から、手術、抗がん剤治療など、一人ひとりの患者さんが納得して治療に取り組めるように意思決定ができるよう、外来や病棟の看護師が相談に応じます。

●アドバンスケアプランニング(ACP)

がん患者さんの場合、転移・再発の診断期から、緩和ケアの提供と共にACPを支援することが非常に重要です。診断後のできるだけ早い段階から、患者さんの気かけりや価値観・意向をよく聴いて、患者さんと家族、医療者が「共に治療方針について考えていく」過程そのものが、ACPです。将来の治療・ケアについて話し合いながら、「いま」を大切に生きていくことができるように支援します。

●患者さんのご家族、お子さんへのケア

がんを家族にどのように伝えたらいいのか、特にお子さんへの伝え方など、家族に関する悩みに対して、チームで支援する体制があります。

また、がん治療中の親をもつお子さん(小学生)を対象に、CLIMB®プログラム実施しています。

ホスピタリティを高める療養環境。

相良病院に一般病棟と緩和ケア病棟、さがらパース通りクリニックに放射線治療専門病棟を設けています。

患者さんにとっての療養環境は、病を治すだけでなく生きる希望を享受できる癒しの場所です。



● 一般病棟 [相良病院]

・ 乳腺・甲状腺・婦人科・形成外科の手術・治療に対応

桜島または城山の眺望と自然光を取り入れた明るい病棟で、ゆったりと治療に専念していただけます。

栄養バランスや季節の食材に配慮したお食事を提供しています。また食欲のない方のためや選択メニューもご準備しています。



● 緩和ケア病棟 [相良病院]

全室個室、男性・女性を問わず全てのがんに対応

1997年、鹿児島県で、初めて誕生した緩和ケア病棟として整備されています。緩和ケア病棟は健康保険の適用ができ、がんによる身体や心の痛みをやわらげ、生活の質を高めるケアを提供しています。

地域の医療機関や在宅施設と連携し、短期間のレスパイト(休息)入院、ご自宅での療養につなげることも可能です。



● 放射線治療専門病棟 [さがらパース通りクリニック]

・ 放射線治療に対応

放射線外照射治療は、身体への負担が少なく、外来での治療が可能です。また、遠方にお住まいの方や通院が困難な方でも安心して治療を受けていただけるように、放射線外照射治療専用の病棟を完備しています。

入院が必要な甲状腺疾患治療のひとつである内用療法(アイソトープ治療)にも対応できる放射線治療病室も備えています。



● キャンサーケアリングセンター カドルハウス

相良病院11階のカドルハウスは、いつでも訪れることができる患者さんのためのスペースです。自然の風を感じる空中庭園、錦江湾、桜島、遠くに開聞岳を望む美しい眺望が広がる空間で、ゆっくりとお茶を飲んだり、ライブラリーにある本を読んだりすることができます。

看護師や医療スタッフにこれからの治療や暮らしの気がかりを相談したり、乳がん体験者の話を聞いたり、患者さん同士で語り合うこともできます。治療と生活に役立つプログラムも開催しています。

【プログラム例】院長と語ろう、食事と栄養の話、カドルカフェ など



● アピアランスセンター

がんの治療の過程では、脱毛、肌色・爪の変化、手術の傷あとなど、外見に変化が生じることがあります。

1階のアピアランスセンターは、がん治療による外見の変化に対処し、自分らしく日常生活を送れるようにサポートする場です。

センター内には、ウィッグサロンが併設され、乳がん術後・乳房再建後のケア用品、入院中の生活用品などが揃っています。

院内患者さんはもちろん、院外からお越しの方にもご利用いただけます。

治療中における、それぞれの悩みや困りごとに、女性スタッフが丁寧にご案内致します。お気軽にご相談ください。



● café

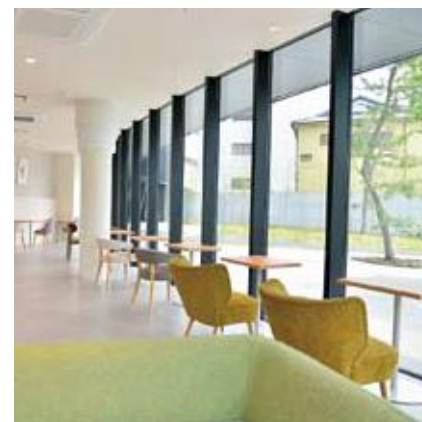


トモニワカフェ

相良病院1階、パース通りに面したガラス張りのカフェは、人が行き交い、出会う、緑の「庭」のあるロケーションを活かして、人々がなごめる憩いの場を「共に」つくりあげたい。

そんな願いを込めて「トモニワカフェ」と名付けました。

トモニワカフェでは、栄養士が旬の食材を使った栄養バランスの良い患者食をカフェ風アレンジして提供します。



企業連携

次世代の女性医療、 がん医療の実現に向けた パートナーシップ。

患者さん一人ひとりに最適な医療を提供するため、医療環境を整えることは重要です。

当法人は、企業とパートナーシップを締結し、グローバルでの知識交流や臨床研究などを通じて、最先端の女性医療を提供しています。

●Siemens Healthineers

2015年、Siemens Healthineersとパートナーシップ協定を締結しました。

高機能・高品質な医療機器・サービスで豊富なグローバル実績をもつSiemens Healthineersと、日本発の次世代女性医療のロールモデルを創り上げたいという理念が一致したものです。

これまで、女性医療専門機関として国内で初めて全身統合型MR-PETシステムや、マンモグラフィとエコーを搭載した乳がん検診車の導入など、精度の高い検査体制の確立を共に行ってきました。

2020年には、アジアの女性医療領域で初めて、Siemens Healthineersのグローバルリファレンスサイトに認定されています。

●バリアンメディカルシステムズ

2019年、放射線治療機器のリーディングカンパニー「バリアン」とパートナーシップを締結しました。

放射線治療機器分野において世界のリーディングカンパニーであるバリアンと提携することにより、乳がん、前立腺がんの高精度放射線治療を中心とするがん医療のさらなる発展を目指しています。



健診センター ウェルライフ

Medical Checup Center
WELL LIFE

さがらパース通りクリニック





人間ドック

スピーディな日帰りドックで 健やかな人生をサポートします。

元気に年を重ねるためには、目に見えない身体の変化にいち早く気づくことが大切です。

人間ドックウェルライフでは、充実したコースと多彩なオプション検査で病気やその兆候を早期に発見し、治療につなげます。

女性中心のスタッフで、 女性専用日を設定

ホスピタリティとアメニティを融合したきめ細やかな検診ができます。母娘や夫婦での受診も可能です。

※男女混合日:月曜日 / 女性専用日:火～土曜日

充実した健診をスピーディーに実施

鹿児島市の中心街からアクセスしやすい好立地。スピーディーな半日ドックをはじめ、短時間で高精度な検査を行うことができます。

相良病院と連携した万全のフォロー体制

女性医療の専門性に基づくコース内容と充実の医療ネットワークで、受診者を総合的にサポート。企業健診のご相談も承っております。

健診コース

●人間ドック

生活習慣病やがんなど、全身の健康状態を幅広くチェックするスタンダードなコースです。

●レディースドック

乳がん・子宮・卵巣がん・甲状腺がん、骨密度と、女性特有の病気をチェックするコースです。人間ドックとの組み合わせも可能です。

●基本健診

標準的な健康診断で、病気の兆候がないかを調べます。

●生活習慣病予防健診

糖尿病や脂質異常症などの生活習慣病のチェックを行う検査です。

●オプション

ピロリ菌検査、肺がんCT、内臓脂肪CT、MRI検査、腹部超音波、腫瘍マーカーなど病気のリスクまで調べられるように、豊富なオプション検査をご用意。気になる部位の検査をコースに追加して、自分だけのオリジナル健診プランをつくることもできます。



巡回 検診車

女性医療の専門病院として 精度の高い検診をお届けします。

デジタルマンモグラフィとエコーを両方搭載した乳がん検診車、子宮頸がん検診車で、県内から全国各地までお伺いいたします。

●女性スタッフが巡回

検診センターと変わらないハイクオリティな乳がん・子宮頸がん検診をお住まいの地域や企業で実施いたします。女性スタッフによる丁寧な検査で、初めての方も安心です。

●乳がん・子宮頸がんの同時検診が可能

マンモグラフィとエコーの両方を搭載した検診車で必要に応じて2つの検査を併用して、一人ひとりに合った乳がん検診を実現します。

子宮頸がん検診と同時実施も可能です。



へき地医療

南北600kmに広がる 鹿児島県の離島・へき地の 医療を支えています。

当法人は鹿児島県より「へき地医療拠点病院」に指定され、地域住民の医療の充実・確保のため、甑島・下甑手打診療所に医師を派遣しています。

また、専門施設のない離島や全国各地へ巡回検診車を派遣し、精度の高い乳がん検診・子宮頸がん検診を行って受診率向上にも取り組んでいます。

●乳腺科 特別診療外来

離島をはじめ、県内各地に居住する乳がん患者さんの負担を軽減するため、乳腺外科医師が地域の医療機関に赴き、精密検査や術後のフォローを中心とした乳腺科特別診療外来を実施しています。

これからも鹿児島県全体を「へき地支援診療圏」として、支援診療圏の拡大に協力してまいります。

さがらウイメンズ ヘルスケアグループ

地域も国も越えて、 乳がん医療を推進します。

相良病院が中核を担う、さがらウイメンズヘルスケアグループは、グループ全体の症例数を活かして、病院間での共同研究・臨床試験、スタッフの交流などを積極的に行い、地域における乳がん医療の質向上に寄与しています。

2022年現在、鹿児島県、京都府、香川県、宮崎県、沖縄県の5法人が参画し、グループ全体の年間乳がん手術症例数は1,500件を超える実績があります。

また、海外においては相良病院をモデルとした「相良転泰大連医院」が開院を予定しており、そのノウハウはアジアでも展開されます。

部門紹介 I

看護部

専門性を磨き、心に寄り添うケアを。

看護部では、「こころに寄り添い、その人らしく生きることを支える」ことを目指して健診、診断時から、治療、終末期にいたるまで、患者さんやご家族一人ひとりに真摯に向き合い、スタッフ全体で継続して寄り添い続けています。

専門性の高いケアを実践するために、がん看護、緩和ケアのエキスパート育成や、チーム医療の要として中心的な役割を担っています。



薬剤部

薬学的アプローチで、治療を支える。

薬剤部では、薬の安全使用のため、患者さんごとに併用薬や検査結果を確認し、薬の適正使用に関する情報提供を行っています。また、手術前に患者さんが使用している薬剤や健康食品の確認を行い、安全に手術が実施できるよう医師・看護師へ情報提供を行っています。薬の専門家として患者様によりよい医療を提供できるように、他職種と連携して対応しています。



放射線技術部

放射線検査から治療まで、多岐に貢献。

放射線技術部には診療放射線技師が在籍し、マンモグラフィ・超音波検査による乳がん検診から、CT、MR-PET等による精密検査、放射線治療まで、予防・診断・治療と多岐にわたる業務に携わっています。

また、診断効果の高い画像を提供できるように、症例検討会、研究発表、学会発表などに積極的に参加し、チーム医療の実践と部内での研鑽に努めています。



臨床検査部

的確な検査で、正確な診断を支える。

臨床検査部では、血液や尿などを用いて検査を行う「検体検査」、心電図、肺機能、超音波検査などを行う「生理機能検査」、細胞や組織を顕微鏡下で良悪の診断などを行う「病理細胞診検査」を行っています。

近年の診断・治療の著しい進歩に対応するべく、高い専門性をもった臨床検査技師が最新の機器を使用し検査を行っています。



部門紹介Ⅱ

臨床研究 支援部

安全で有効な新薬・治療法を患者さんへ。

より副作用が少なく、効果の高い新薬や、新しい治療法を患者さんへお届けするためには、治験や臨床研究の実施が必要であり、患者さんのご協力が必要不可欠です。患者さんが安心して治験や臨床研究にご参加いただけるよう、人権と安全面に最大限配慮し、国が定める法令や指針を遵守しながら、質の高い治験・臨床研究の実施を支援しています。



栄養管理部

適切な栄養管理で、食からサポート。

栄養管理部では、がん病態専門管理栄養士が在籍し、個別の栄養指導・食事指導も実施しています。お食事はもちろん彩りや盛り付けにも工夫を凝らし、美味しさと栄養バランスに配慮したメニューの提供に日々努めています。「メモリアルランチ」、「花小箱膳」など、季節の行事食をご準備しています。



リハビリテーション部

快適な日常生活を送るためのケア。

リハビリテーション室は、望テラスを見わたせる、明るく開放的な空間です。治療中の患者さんがリラックスしてリハビリに臨める環境とプライバシーに配慮しています。乳がん手術後や化学療法中へのリハビリテーションや個室でのリンパ浮腫治療の施術、緩和ケアの患者さんへ在宅復帰に向けてのリハビリテーションも行っています。



事務部門

最適な医療提供への多面的な支援。

病院を適正に運営する上で必要とされるさまざまな業務を担っています。スムーズな事務手続きや、安全で快適な施設・設備の提供等により、患者さんの療養をサポートいたします。また、「特定領域がん診療連携拠点病院」として、地域の方々によりよい医療を継続的に提供できるように、経営へのサポートを行っています。



施設認定

相良病院

公的機関等認定

特定領域がん診療連携拠点病院(乳がん)

へき地医療拠点病院

がんゲノム医療連携病院

鹿児島県乳がん検診精密検査実施協力医療機関

鹿児島県子宮がん検診精密検査実施協力医療機関

生活保護法及び中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律に基づく指定医療機関

外国人医師臨床修練病院(新生物領域)

科学研究費補助金取扱規程(昭和40年3月30日文科省告示第110号)第2条第8項に規定する研究機関

学会等認定

日本外科学会外科専門医制度 修練施設(指定施設)

日本乳癌学会 認定施設

日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会 乳房再建エキスパンダー実施施設(一次再建／二次再建)

日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会 乳房再建インプラント実施施設(一次一期再建／一次二期再建・二次再建)

日本形成外科学会 乳房増大エキスパンダー及びインプラント実施施設

日本がん治療認定医機構 認定研修施設

日本麻酔科学会 麻酔科認定病院(研修施設)

日本緩和医療学会 認定研修施設

日本甲状腺学会 認定専門医施設

日本内分泌外科学会 専門医制度 関連施設

日本臨床腫瘍学会 認定研修施設(連携施設)

日本臨床細胞学会 認定施設・教育研修施設

日本遺伝性腫瘍学会 遺伝性腫瘍研修施設

日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構 遺伝性乳癌卵巣癌総合診療連携施設

日本緩和医療薬学会 緩和医療専門薬剤師研修施設

日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設・画像認定施設

JCOG(日本臨床腫瘍研究グループ)乳がんグループ参加施設

NCD(National Clinical Databases)施設会員

九州大学病院連携医療機関

第三者評価

日本医療機能評価機構 認定施設(一般病院2)

さがらパース通りクリニック

日本乳癌学会 関連施設

日本人間ドック学会 人間ドック健診施設機能評価認定施設

UAセンセン指定 日帰り人間ドック実施施設

全国健康保険協会 鹿児島県生活習慣病予防健診実施機関

全日本病院協会 健康保険組合連合会指定 日帰り人間ドック実施施設

生活保護法及び中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律に基づく指定医療機関



沿革

- 1946年 外科病院として相良病院開院
- 1973年 九州初、乳腺X線撮影装置「マンモグラフィ」を導入
- 1985年 乳がん体験者の会・つどい「いずみ」設立
- 1997年 鹿児島県下初、厚生省の基準を満たした緩和ケア病棟承認
- 2002年 特別医療法人へ移行
- 2003年 さがらクリニック21・人間ドックウェルライフ開設
- 2005年 17年度厚生労働省マンモグラフィ緊急整備事業によりデジタルマンモグラフィと超音波装置を搭載した検診車を導入
- 2006年 電子カルテシステム導入
- 2007年 さがらパース通りクリニック(18床)開設
厚生労働省マンモグラフィ遠隔読影支援モデル事業の拠点施設として認定
- 2009年 鹿児島県がん診療指定病院認定(単独・乳がん)
甌島にてへき地医療開始
- 2011年 社会医療法人へ移行
- 2012年 さがらクリニック21より相良病院附属プレストセンターに名称変更
鹿児島中央ターミナルビルにさがら女性クリニック開設
- 2014年 特定領域がん診療連携拠点病院に認定
へき地医療拠点病院に認定
- 2015年 シーメンスヘルスケアとパートナーシップを締結
- 2016年 さがらウィメンズヘルスケアグループを設立
- 2017年 臨床研究センター、研究機関(科研費取扱規程第2条第8項)指定
- 2018年 がんゲノム医療連携病院に認定
- 2019年 バリアンメディカル システムズとパートナーシップを締結
- 2020年 新 相良病院グランドオープン
Siemens Healthineers「女性医療領域におけるグローバルリファレンスサイト」にアジアで唯一認定
「第6回 鹿児島市景観まちづくり賞」建築部門を受賞



共に在り、共に歩む

患者さんと共に歩む

1973年、博愛会は九州で初めてマンモグラフィを導入以来、女性医療分野を中心に予防から検診、治療、緩和医療まで、一貫した体制を整えて参りました。

一人ひとりの患者さんの声に耳を傾け、病気・家族・暮らしなど患者さんの普通の生活を支えたい。その思いを実現するため、診療・ケア・教育・研究など多岐にわたり取り組んでいることは、私たちの誇りです。

地域と共に歩む

2011年、博愛会は社会医療法人となり、鹿児島県の離島僻地を視野にいたした医療に取り組み始めました。医療を受けることが大きな負担となっている地域に医師が赴き、乳腺特別外来を実施しています。

また広く地域においては、女性の健康を守るため様々な活動を支援しています。

活動を通して、多くの方と絆が生まれることは、私たちの喜びです。

医療機関と連携し、共に歩む

2014年8月、全国で初めて唯一、乳がん領域において「特定領域がん診療連携拠点病院」に認定され現在も唯一の施設です。各地の医療機関と連携を図りながら、がん医療水準の向上に貢献することは、私たちの務めです。

私たちはこれからも、特徴とする専門性の追求と幅広い対応力を磨きながら、より一層信頼される医療に取り組んでまいります。

社会医療法人 博愛会

理事長 相良吉昭

ご予約

● 予約センター	受付時間●平日 8:30~17:00●土曜日 8:30~12:00
外来(初診・再診)	099-224-0489
● 人間ドック予約	受付時間●平日 9:00~17:00●土曜日 9:00~12:00
人間ドック・レディースドックの予約	099-224-1816
● 緩和ケア科を初診ご予約の方	受付時間●平日 9:00~17:30
がん相談支援センター	099-216-3360

お問い合わせ

がん相談支援センター(平日 9:00~17:30)

がん相談・医療相談・セカンドオピニオン・緩和ケア相談・地域医療機関の問い合わせ
099-216-3360

リンパ浮腫外来(平日 8:30~16:00)

リンパ浮腫外来/お問い合わせ・ご予約

080-7135-9241

遺伝相談外来(平日 10:00~16:00)

遺伝相談外来/お問い合わせ・ご予約

099-222-7116 内線4533

カドルハウス(平日 10:00~16:00)

099-208-0035

アピアランスセンター

メディケアショップ(平日 9:00~17:00/土曜日 9:00~13:00)

099-225-8588

ヘアケアステーション スヴェンソン(平日 9:00~17:00)

099-219-1347

トモニワカフェ(お席、お食事のご予約)

099-248-7655

健診事業部(平日 9:00~17:00)

検診車の企業・団体お申し込み・お問い合わせ/啓発・講演会の依頼

099-224-1821

代表電話

099-224-1800(相良病院)

099-239-5255(さからパース通りクリック)

●ホームページ <http://www.sagara.or.jp>



SAGARA WOMEN'S
HEALTHCARE GROUP

■博愛会シンボルマーク

「命」や「個人」をシンボライズした、4つの図形。
その組み合わせが、人と人との支えあいや、医療、ホスピス活動を表しています。

社会医療法人 博愛会

www.sagara.or.jp



相良病院

〒892-0833 鹿児島市松原町3-31
Tel.099-224-1800 Fax.099-224-3921

【休 診】土曜午後・日曜/祝日

【診療時間】9:00~18:00

手術・治療・入院

- ・乳腺・甲状腺外科 ・甲状腺内科 ・婦人科 ・形成外科
- ・腫瘍内科 ・緩和ケア科 ・サイコオンコロジー科
- ・糖尿病・内分泌内科 ・歯科口腔外科 ・循環器内科
- ・放射線科 ・病理診断科 ・麻酔科



さがらパース通りクリニック

〒892-0838 鹿児島市新屋敷町26-13
Tel.099-239-5255 Fax.099-239-5266

外来・入院

- ・放射線診断科
 - ・放射線治療科
 - ・人間ドックウェルライフ
- 【休 診】土曜午後・日曜/祝日

【診療時間】9:00~18:00

